浜益区民のための情報紙
いま・はま
第2号　平成30年10月1日
発行：浜益観光まちづくり推進協議会
（事務局）79-5700

2年ぶり浜益ふるさと祭り開催

9月、2年ぶりとなる浜益ふるさと祭りが開催され、たくさんのお客様で賑わいました。前の週には大きな地震と道内全域での停電。「また中止か？」と関係者の心配はつきなかったことと思います。「開催したところで人は来るのか？」という心配もありましたが、早朝から次々とお客様がやってきてくれて、いつもの賑わいを見ることができました。そして今回は石狩・厚田・浜益と全ての祭り開催回数に5つがつくことから特別企画を実施。浜益では「海の幸レース持って・はかって・どーっちだ！？」を企画し、来場者に参加してもらいました。生きたタコを抱えて走り、ホタテを箱に詰めてはかり、鮭のオスメスを当てるかもしれないレースでしたが、参加した人はとても楽しかった！またやってほしい」とニッコリでした。天気にも恵まれ無事終了して、本当に良かったです。

夏の浜益は子どもの探検・発見にぴったりでした

石狩UMIBEキッズクラブ・COOP福島の子どもキャンプin浜益

7月下旬、石狩UMIBEキッズクラブの親子が泊まりがけで浜益に来ています。目的は「コウモリが浜益に住んでいる観察」です。コウモリは会の機知りませんでしたが、コウモリは声をかけて見せてもらいます。キャッチすると、ばらばらに逃げていきます。コウモリは手の中にお捕獲されてしまうと、体はふるふるわなわなします。今回の浜益の企画は、「コウモリを探し出す」という目的で、国道沿いの山辺にある橋の下にも、よく探しに行くことになりました。農協の事前に薄暗くなるまで、川に入ってコウモリ帰りを待ってみました。コウモリは、夏休みの子達にとって、やっぱり楽しかったようです。

3泊4日の中旬には福島県の子ども達22名が宿泊します。8月中旬には浜益に来ました。浜益を見学しました。浜益の自然を楽しみました。海で釣りをしたり、海に入ったり、浜益の自然を楽しみました。浜益の自然を楽しみました。浜益の自然を楽しみました。

観光は「モノ」から「コト」の時代
福島の子どもたちからの寄せ書き

福島からやってきた子ども達が、最終日に寄せ書きを書いてくれました。心に残ったことは何だったと思いますか？
一部、ご紹介します。
「ウォークラリーでは、やさしくこえをかけてくれてとてもうれしかったです（ゆ）」
「ほうりゅう寺でみた「じごくのえ」は、とてもこわかったです（り）」
「はまますはさむいけど、はまますの人たちがあたたかくむかえてくれた。はまますって、いいところだねー（な）」
このように、地域の人たちとの会話や体験を楽しむこと、風土を活かしたプログラムの中で心を動かされる、という観光がすでに主流になっています。
「お決まりの観光地を見て、物を買って満足する観光」には浜益は不向きですが、自然景観や地元住民との何気ない会話で満足してもらえるのなら、浜益にも人を呼び込むチャンスはあるのです。
かと言って、それがずっと続くわけではありません。世の中の動きを見ながら、「今何が必要とされているか」にアンテナを張り続け、必要に応じて変化していくことも大切です。

浜益観光まちづくり推進協議会 ホームページ作成中です

hamamasu.jp

前回の広報いしかりでもチラッと紹介されましたが、浜益観光まちづくり推進協議会のホームページを作成中です。
まだまだ、まとまりなく「何じゃこりゃ」と思った人もいるかと思いますが、完成まで閲覧できないのではなく、作成しながらも情報発信をしていこうという作業方法ですすめています。
今後、お店の詳細情報も載せていきたいので、お話を聞きに行った際にはご協力お願いいたします。
http://www.hamamasu.jp/

エゾシカやヒグマの生態を知ろう
石狩市民文化祭浜益会場

私たちの身近にいるエゾシカやヒグマについて、詳しく知ることのできるブースを、石狩市民文化祭浜益会場に設置する予定です。農林業や交通に影響を与えるなどの問題が起こっています。また、ヒグマも目撃情報が多くなっている北海道ではエゾシカが増えており、私たちの生活圏にじわじわと歩み寄っているのを感じますよね。
本やそんなエゾシカやヒグマについて、骨格や毛皮などを実際に見ながら、詳しい説明を聞きつつ、その生態を学習してみてはいかがでしょう。
シカの角を使った工作体験も計画中です。

関連団体の紹介
アミーケ・インターナショナル(株)

石狩市花川に事務所を構え、地域に根ざした体験型プログラムを企画・運営している旅行会社です。
副社長の伊藤朱美さんは、長年通訳案内業に携わっているのですが、地元石狩にも多くの見どころがあるにも関わらず、訪れる外国人が少ないことが残念でならないという思いから起業。海外からのお客様をもっと石狩に呼び込もうと、様々なツアーを企画しています。
また、一般向けの観光では浜益・厚田の魅力発掘にも力を入れていて、7月には浜益地区の奴道中見学とさくらんぼ狩りを合わせたツアーを、そして今月末には北前船をテーマとして石狩を巡るツアーで、はまます郷土資料館を訪れる予定です。

Amiche INTERNATIONAL

一生懸命だと、知恵が出る
中途半端だと、愚痴が出る
いい加減だと、言い訳が出る

私たちの会だけに限らず、地域活性化したいと、人が訪れる町づくりを援助したいと活動している反面、外部からの協力をすることは得られないのが現状です。
嫌なら、何をすべきかわかっている人も来客にしてもらえるようなエゾシカ１００％の浜益の少数の意見に過ぎないのかもしれません。
弄ばれる残念なことは、活性化自体が断念されてしまうことも出てきてしまうことです。
ましてや、未来のない衰退し合うのはいやなものです。
意見を出し合う、批判的意見とでは、前者は、後者は、頑張るべきです。
浜益の人は、未来を創っていく知恵